

あなたのまちのアクティブシニア

名瀬矢之脇町老人クラブ「矢之脇若返り会」(奄美市)

奄美市名瀬矢之脇町は奄美市の北西部に位置し、313世帯524人が暮らす地域で、私たち「矢之脇若返り会」はこの地域を拠点として活動する老人クラブです。

昭和34年、あるお母さんの働きで子ども会が誕生し、その後、子ども会の活動に触発されて自治会が結成され、地域活動が活発になりました。取り残された高齢者は「老人は老人同士」と昭和41年4月に「矢之脇若返り会」が結成されました。会員は現在、男性23人、女性74人の計97人です。

主な活動は、仲間づくりとして、グラウンドゴルフの練習、カラオケや踊りの練習、明るい町づくりとして、毎月第3日曜日の市民清掃活動、生きがいづくりとして、施設訪問活動、他にお花見会、敬老の日の集い、世代間交流活動、遠足、新年会などを実施しています。また、会報誌「らんかんやま」を発行し、活動計画、参加要請、実施結果等をお知らせしています。



福します。

世代間交流活動は、子ども会と老人クラブが一緒になって活動を行います。夏休みは七夕を作り、市内の商店街や矢之脇公園に飾ります。冬休みには「あんころ餅」や、ぜんざいを作ったりしておいしく食べます。

また、防災訓練も重要な行事のひとつです。奄美市が実施する防災訓練に参加し、特に自分自身で避難できない高齢者の支援に重点を置き、「会員一人ひとりの避難までの時間、災害の種類による避難場所の指定」などを考えながら、訓練に取り組んでいます。

今後とも会員同士の心と体の健康づくり、地域社会への貢献を目的に「ヨリヨリ」(ゆくりゆくり)「活動」を続けていきます。



〈連絡先〉才田一男
TEL 0997-52-5955

おもちゃ病院そお(曾於市)

「おもちゃ病院そお」は、平成22年7月に設立されました。

当時、地域ボランティアとして、何か出来る事は無いかとの思いでおもちゃ病院ドクター養成講座を受講し、その後、「おもちゃ病院そお」の開院に向け、ドクターを募集する等の準備を始めました。

開院から運営まで曾於市社会福祉協議会に様々な支援をいただきながら、現在まで約10年間活動を続けています。

ドクターは現在60代から70代の、男性3名、女性3名です。全てのメンバーが修理の経験があるというわけではありませんが、互いに試行錯誤しながら、協力し合って治療に当たっています。

毎月第一日曜日に、そお生きいき健康センター会議室で開院しています。

治療は、開院当日持参されたおもちゃと、事前に市社協でお預かりしたおもちゃの治療をしています。が、定例

日以外でも、社会福祉大会やよろう桜まつり等、各種イベントでの開院依頼に応じ治療をしています。



〈連絡先〉宮田良一
TEL090-3328-1824

時には、原因解明に苦しんだり、部品が無かったりして、近隣のおもちゃ病院(霧島、鹿児島、志布志、都城等)に相談したり、部品の供給を受けながら完治を目指しています。

修理が難しいおもちゃが完治し、お渡しする時の、嬉しそうなお孫さんの顔や、付き添う、おじいちゃん、おばあちゃん顔を見るとき、本当に、気持ちが晴れやかになります。

壊れたおもちゃの修理や、その仕組みをお話する事で、物の大切さを伝えたり、自分達シニアの今まで培ってきた色々な経験や、知識を活かせる事に生きがいを感じたりと、異世代間交流にもなり、地域社会「コミュニティ」に参加出来るているのかと思っています。

今後も、地域のシニアボランティアとして、積極的に活動を続けていきたいと考えています。



このコーナーではすこやか長寿社会運動を实践され、いきいきと社会参加されている団体・個人を紹介しています。